



レジストリ + ガバナンス

IP Meeting 2006

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP分野担当理事 前村 昌紀
maem@nic.ad.jp



2

発表者ご紹介

- 取りまとめ・ICANN and beyond
– 前村
- ドメイン名にまつわる動き
– JPRS 企画部 宇井 隆晴さん
- IPアドレスにまつわる動き
– JPNIC IP事業部 奥谷 泉



インターネットガバナンス ICANN and beyond

IP Meeting 2006

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP分野担当理事 前村 昌紀
maem@nic.ad.jp



WSISチュニス会合での決議 (去年のスライドそのままです。)

4

- チュニスコミットメント
 - 和訳: http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/051119_1.html#s1
- 国際連合管轄でインターネットガバナンスフォーラム(IGF)を設立し、マルチステークホルダーアプローチで最低5年間維持する
 - WGIG体制の発展的延長?
- ICANNに関する体制は、米国政府の関与を含めて全て当面現状のまま維持
 - 7月に米国が現状維持を主張して以来、EUの変節など政治的な動きが続き、決議案採択は前日夜半までに及んだ
 - 先延ばし。

Copyright © 2005 Japan Network Information Center, All rights reserved



ICANNの動き



Multi-stakeholder Scheme と Vint後の体制

6

- 米国商務省との覚書更改
 - <http://www.icann.org/announcements/announcement-29sep06.htm>
 - DoCの管理体制が緩められた文言
 - “Private Sector leadership of Domain System Coordination”
- 新しい戦略的計画 (ICANN Strategic Plan)
 - <http://www.icann.org/strategic-plan/strategic-plan-12nov06.pdf>
 - stratplan-2007@icann.org ,
<http://forum.icann.org/lists/stratplan-2007>
 - 2007—2010の戦略的計画のドラフトと意見聴取
 - Global, multi-stakeholder. 産業界主導體制の確立
- 理事会の体制
 - 2006年の指名プロセスは完了。
 - 早くも来年のVint Cert改選に向けた懸念と関心

Copyright © 2005 Japan Network Information Center, All rights reserved

インターネットガバナンスフォーラム (IGF)の動き


インターネットガバナンス フォーラム(IGF)概要

8

- 2005年11月のWSISチュニス会合で採択された「チュニスアジェンダ」の中に記され設置が決定。
- インターネットガバナンスの問題に関し、マルチステークホルダー間で政策対話を行う国連管轄のフォーラム

チュニスアジェンダ

77. IGFは監督機能を持たず、既存の取り決め、仕組み、機関や組織を置き換えることは行わない。逆に、それらと関与し、その能力を活用するものである。IGFは中立で、重複することなく、拘束力のないプロセスに基づいて進められる。インターネットの日常的又は技術的な運用業務には関与しない。

 IGFは「対話の場」であって、何かの政策が決定されるわけではない。(≠WSIS/WGIG)

Copyright © 2005 Japan Network Information Center, All rights reserved

メインセッション・プログラム

10/30(月)	10/31(火)	11/1(水)	11/2(木)
AM Opening Ceremony	AM OPENNESS -表現の自由 -情報の自由な流通	AM DIVERSITY -多言語主義とローカルコンテンツの促進	AM Chair's summing up
PM Setting the Scene	PM SECURITY -相互協力を通じた信頼の醸成	PM ACCESS -インターネット接続のコストと政策	PM Emerging issues Closing Ceremony

上記のメインセッションの他、合計36のワークショップが並行開催。

Copyright © 2005 Japan Network Information Center, All rights reserved

メインセッション



パネルディスカッション形式で、参加者にも発言の時間が与えられる。

司会者はTVキャスターが中心。技術者ではない。

DIVERSITYセッション担当のNHK 今井氏



最終日に総括があったが、司会者の「個人的感想」が述べられるのみで、宣言の採択等は全く無かった。

Copyright © 2005 Japan Network Information Center, All rights reserved

振り返り・その1

- 学術、政府、民間、市民社会と多様な参加があり、オープンマイクで発言も許され、対話の場としては当初の狙い通り機能した。
- 途上国の参加者からはインターネットへのアクセス自体が整備されていないことに強い不満を表明する場面が少なからずあった。
が、元々IGFではそれに対する手当は出来ない。。
- 一部のワークショップで「インターネットの米国支配」に強く反発する意見が出たが、メインのセッションでは現行体制を強く疑問視するような意見は無く、今回のIGFは現行体制に何らかの影響を与えるものとは思えない。
- しかし次回IGF-host国のブラジルが現行体制の是非を議論する意向がある。

振り返り・その2

- Web充実。 <http://www.intgovforum.org/>
会議速記録, 発表原稿, 事前資料
- 国連的な面
途上国支援に尽きること
普通(non-techie)な方々によるインターネットのあり方の議論と定義
- インターネット的な面
マルチステークホルダー対話
- 既存国際会議との比較における戸惑い
宣言の採択をはじめとして成果目標がない
対話のための会場 + 持ち帰って執行
お友達プロトコル + ポジションの誇示 + プレゼンス
「外交官モデル」ではなく「劇場モデル」



まとめと 2007年の展望



地味ながらやはり ICANNとIGFに要注目

14

- IGF
 - 11月にブラジル・リオデジャネイロで開催。
 - ホスト国はICANNに批判的なブラジル政府
- ICANN
 - 米国商務省との新覚書はどう作用するか？
 - 産業界主導体制の強化はどのように？
 - Vint Cerf以後の理事会体制はどのように？

発表者ご紹介

- 取りまとめ・ICANN and beyond
– 前村
- **ドメイン名にまつわる動き**
– JPRS 企画部 宇井 隆晴さん
- IPアドレスにまつわる動き
– JPNIC IP事業部 奥谷 泉